住友化学の1年

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大などの影響により、あらゆる制約がある中で、南米農薬事業の統合プロセスや、ロイバント社との戦略的提携に伴い獲得した2剤の開発、ラービグ第2期計画のプロジェクト・ファイナンスに関する完工保証の終了などを着実に実施しました。また、カーボンニュートラルやプラスチック資源循環の実現に向けて社内の体制を整えるなど、当社と社会が持続可能であるために歩み続けた年でした。

2020年 4月

健康・農業関連事業

豪大手農薬会社ニューファーム社の南米子会社4社の買収完了

エネルギー・機能材料

固体型電池の実用化に向けた研究開発を推進するため、京都大学に産学共同講座を開設

情報電子化学

大阪工場で最先端プロセス向け半導体フォトレジストの開発・評価体制強化を決定

5月

研究開発

合成生物学を活用して、微生物の設計と培養から発酵プロセスの工業化までを一貫して行うことに強みを持つ、米国バイオベンチャー企業のコナジェン社に出資

新型コロナウイルス感染症対策支援として、医療用資材を提供

- 緊急用に備蓄していたN95マスクを医療現場へ寄付
- 農業用ポリエチレンフィルムを、医療用ガウンの原料として供給 P36
- 積水化学工業(株)と共同で、医療用ガウンを政府等関係先に寄付

6月

「住友化学グループ プラスチック資源循環に関する基本方針」を制定 P66

研究開発

新型コロナウイルス感染症診断センサーを開発する、イスラエルのナノセント社へ資金提供

エコバディス社のサステナビリティ調査において、「ゴールド」評価を獲得

7月

8月

健康・農業関連事業

米国およびカナダで新規殺菌剤「インディフリン®」の農薬登録を取得

9月

（注）各トピックスの年月は、基本的にリリースの発表時期に基づいています

石油化学
ラービグ第2期計画のプロジェクト・ファイナンスに関する完工保証の終了

医薬品
再生・細胞医薬分野のCDMO事業に関する合弁会社を設立、事業開始

健康・農業関連事業
バイオラショナル事業に関連する全機能を米国のベーラント・バイオサイエンス社に統括させ、ベーラントU.S.A.社の本社と研究開発拠点を集約した新施設を開設

石油化学
シンガポールで、プロパンガスからプロピレンを生産するプロパン脱水素（PDH）技術と、二酸化炭素の有効利用技術を組み合わせる検討を開始

医薬品
大日本住友製薬の連結子会社であるマイオバント社が、ファイザー社とレルゴリクスに関する開発および販売で提携

医薬品
大日本住友製薬が、米国において進行性前立腺がん治療剤「ORGOVYX™」（レルゴリクス）を新発売

石油化学
ロシア連邦の大手石油化学会社に高圧法ポリエチレン製造技術のライセンスを供与

情報電子化学
大阪工場で最先端プロセス向け半導体フォトレジスト製造設備の増強を決定

10月　11月　12月　2021年 1月　2月　3月

高効率なガスタービン発電設備の新設を決定（千葉工場）
P64

「プラスチック資源循環事業化推進室」を新設し、プラスチック資源循環に関わる取り組みの事業化を加速

ESG説明会を実施

P95

カーボンニュートラルの実現に向けて、「カーボンニュートラル戦略審議会」および「カーボンニュートラル戦略クロスファンクショナルチーム」を設置
P60

CDPによる気候変動および水セキュリティ対応調査において、気候変動では3年連続、水セキュリティでは初めて最高評価を獲得

CDP A LIST 2020 CLIMATE　CDP A LIST 2020 WATER

研究開発
島根大学と、二酸化炭素からメタノールを合成する共同研究を推進
P67